

## 平成 22 年度第 2 回理事会次第

日 時 平成 22 年 5 月 29 日 (土) 10:30

会 場 千葉県社会福祉センター4 階会議室

1. 出席者及び資料の確認
2. 開会
3. 会長挨拶
4. 議 題
  - (1) 報告事項に対する質疑 (事前送付資料によりご確認ください)
  - (2) 議事(案)
    - 1.新公益法人制度への対応について
    - 2.その他
  - (3) その他
5. 閉会

## 広報部会資料

日時	平成 22 年 4 月 26 日 (月) 19 時 30 分～22 時 00 分
場所	あずみ苑井野(佐倉市井野)
出席者(人数)	鈴木・山口定・山口利・瀧澤・草間・松本・森 (7名)
<p>1. 昨年度の総括・今年度の変更点について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 反省点として、校正の際に読者の目線になることが出来なかったことが挙げられる。</li> <li>・ 校正会議に時間がかかりすぎるため、3月発行分より校正会議を開かず、2名体制で原稿を校正する方法へ変更し発行した。読者より記事の指摘はあったものの、校正チェック機能としては働いていた。</li> <li>・ 発送作業は昨年度同様、地域集会の世話人をお願いし各地区で実施するが、地区によっては人手が足りない場合もあるので、広報部会員は今後出来る限り参加することになる。</li> <li>・ 今年度の『点と線』発行は年3回(7月・11月・3月)となり、紙面が12頁から14頁と2頁増える。</li> <li>・ 発送作業の伝票が使いづらい。事務局と相談の上、他社の見積をとり検討。</li> </ul> <p>2. 広報活性化事業について(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7件のアイデアが上がり、総務委員会を以下の通り実施した。今後は、採用候補となった2件についてワーキングチームを作り、二次審査(理事会)に向けて活動を開始する。広報部会員も総務委員会のメンバーとしてどちらかのワーキングチームに入り活動を活性化していく予定。</li> </ul> <p>第1回総務委員会 2月実施 採用候補を7件→2件に絞る(一次審査実施)</p> <p>第2回総務委員会 3/30 採用候補者より実際に事業内容を聞く</p> <p>3. 各部会員の役割について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度の役割をもとに必要なか否か検討のうえ役割分担化した。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 部会長…印刷会社ワナーや事務局との窓口役・会議開催の日程調整</li> <li>☆ 書記…議事録を一週間以内にメーリングリストにアップする(毎回出席者の持ち回りとする)</li> <li>☆ 会計…広報部会の必要経費の管理(『点と線』の印刷代・謝礼代・交通費の請求等)・予算化</li> <li>☆ 校正担当…一次校正原稿のダブルチェック</li> <li>☆ 編集担当…記事のレイアウト編集</li> <li>☆ イラスト担当…記事に応じたイラスト描き</li> </ul> <p>【担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 部会長一森 悠子</li> </ul>	

- ★ 会計—松本 拓馬
- ★ 編集担当—瀧澤 孝悦、山口 利史
- ★ 校正担当—山口 定之
- ★ イラスト担当—松本 拓馬

#### 4. 紙面の充実とレイアウトについて

- ・ 『点と線』を広報するツールとして有効に活用するため、レイアウトの変更をしたい→記事は見た目ではないが、広報紙としての価値を高めるために予算的に可能であれば行いたい。

① 用紙は白、二色刷り(赤系と黒)

⇒印刷会社ワナーに見積書依頼し確認後、検討とする

② 段組を二段とする

⇒メール配信を考え、縦書きの段組とする

③ フォント見出しMSゴシック18~36、文章MS明朝10、5

⇒見やすい

④ 頁数8~10へ減らす

⇒紙面の充実については、総会にて可決されているため、今年度のページ数は14頁のままとする。

⑤ 表紙は写真・イラストなど視覚的に訴えるものをいれる

⑥ 1頁の文字数は1200字、写真を大きく挿入

⇒インパクトがありよいが画像解像度の問題や、印刷代に影響があるのか確認が必要。

⑦ 見出しは広報部会で決めることについて執筆者に了承をとる

⇒執筆者で見出しをつけたい人にはつけてもらう。原稿依頼文に一筆添える。

⑧ 記事の見出しをヘッダーの位置に入れる

⇒わかりやすい

⑨ 見出しは罫線等で飾らず、図形四角の背景色に統一する

⇒わかりやすい

#### 5. 第73号の記事について

- ・ 第73号は昨年度と記事の内容(内部的・外部向け)に変更はなし。第74号以降は研究誌への寄稿文書も順次掲載する。
- ・ 『社会福祉士の輪』は、林房吉副会長に依頼。
- ・ 特集記事は、医療福祉連携で担当に一任とする。
- ・ 7月発行なので、ソーシャルワーカーの日と絡む内容で盛り込みたい。
- ・ 理事改選後発行のため、新旧会長挨拶・新理事紹介文を盛り込む。
- ・ 研究大会報告は、当日参加者より執筆者を依頼する。
- ・ イラスト投稿やほっこりエピソード・福祉川柳なども掲載し、記事にやわら

かみを持たせる。

- ・ 広報活性化事業については、進捗状況とワーキングチーム募集について記事とする。
- ・ 広報部会からのお知らせとして、寄稿文の募集（山口利）とイラスト投稿やほっこりエピソード・福祉川柳など掲載（松本）
- ・ 時事トピックスのいのちの電話については、謝礼金対象。
- ・

< 『点と線』 第 73 号の内容について >

- ・ 表紙及び導入文（100字程度） P.1 担当：山口利・瀧澤
- ・ 新旧会長挨拶・新理事紹介・総会報告 P.2 担当：鈴木（執筆依頼）
- ・ 特集記事(医療福祉連携) P.3 担当：山口利・瀧澤(執筆依頼)
- ・ 研究大会報告 P.1 担当：森（執筆依頼）
- ・ 地域集会報告（長生地区） P.1 担当：鈴木(執筆依頼)
- ・ コラム・広報活性化事業進捗状況 P.1 担当：鈴木
- ・ 時事トピックス（いのちの電話） P.1 担当：山口利（執筆依頼）
- ・ 時事トピックス（ソーシャルアクション） P.1 担当：鈴木（執筆依頼）
- ・ 社会福祉士の輪 P.1 担当：五十嵐（執筆依頼）
- ・ 広報部会からのお知らせ（寄稿＋投稿） P.1 担当：山口利・松本
- ・ 事務局だより P.1 担当：森（執筆依頼）

< 第 74 号特集記事について（案） >

- ・ 広報活性化事業のワーキングチーム進捗
- ・ 完全寄稿型 独立型社会福祉士
- ・ 三団体合同リレーコラム

地域包括支援センター一部会報告事項

報告事項

① 5 月 25 日 高齢者虐待防止対策研修会について

5/25 行政・地域包括初任者向け研修 千葉県庁中庁舎 10 階にて 100 人受講。

② 地域包括支援センター初任者・現任者研修について

千葉県委託の地域包括支援センター初任者・現任者研修の委託の公募については、高齢者虐待ソーシャルワーク研修受託の為部会員が多忙につき、今回の申請は見送った。

③ 高齢者虐待対応専門職チーム

4 月に受託開始。4 月度の依頼は無かった。

④ 高齢者虐待対応アドバイザーコースについて

本部に 5 名を推薦した。(①目黒②朽名③山崎④岡本⑤小倉 の 5 名)

**相談事業部会報告事項**

① 福祉のしごと就職フェア

7/17 幕張メッセにて 2 名の相談員を派遣予定

## 研修啓発部会

---

### 報告事項

- 平成 22 年基礎研修 別紙参照
- 平成 21 年 実習指導者講習会 アンケートについて

# 基礎研修会のお知らせ

(社)千葉県社会福祉士会では入会 3 年未満の方を対象とした基礎研修会を例年行っており、今年も下記のとおり開催いたします。基礎研修会は日本社会福祉士の「生涯研修制度」の一部です。私たち会員一同は新たに入会された方々を歓迎するとともに、充実した時間を皆様と共有したいと考えております。

今回は社会福祉士の活動の説明の他に、日本社会福祉士会 綱紀委員

山崎 泰介氏による「社会福祉士の倫理について」をテーマとした講義を予定しています。専門職の職業倫理が厳しく問われる昨今、注目のテーマ。どうぞ皆様お誘いあわせの上、ご参加ください。なお、主な対象は入会 3 年未満の方ですが、それ以外の方も大歓迎いたします。

## 記

期 日 平成 22 年 7 月 3 日 (土)  
場 所 千葉県社会福祉センター4 階会議室  
(千葉都市モノレール市役所前駅下車 徒歩 3 分)  
日 程 13:00～ 受付  
13:30～ 主催者挨拶  
事務局報告  
説明等「千葉県社会福祉士の活動と生涯研修制度について」  
「共通基盤研究、実習指導者講習会」  
講 義「社会福祉士の倫理について」  
16:30 終了

講 師 日本社会福祉士会 綱紀委員 山崎 泰介氏

参加費 会員 1000 円、非会員 2000 円 (資料代を含む)

定 員 70 名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

連絡先 千葉県社会福祉士会事務局  
電 話 043-238-2866  
ファックス 043-238-2867  
Eメール cswchiba@sweet.ocn.ne.jp

申し込み 裏面申し込み用紙を FAX もしくは同内容を Eメールによりお送りください

\* なお、研修会終了後、講師を囲んで、懇親会ならびにサクラサク国家試験お疲れ様会を実施します。皆様、どうぞお誘いの上、ご参加ください。(会費 4、500 円程度予定)



平成22年度  
基礎研修申込み書

氏名	所属
住所	TEL/E-MAIL
〒	(TEL)
	(E-MAIL)
合格した回 (〇〇年度でも構いません)	社会福祉士 会員番号 (会員のみ)  (登録番号ではありません)
社会福祉士会に期待すること	
今回の会に期待すること	
◎ 懇親会及びサクラサク国家試験お疲れ様会	
<p>☆お誘合わせの上、多くの参加をお待ちしております。 (必ず下記の内容に○を囲んでください)</p> <p style="text-align: center;">私は      参加      不参加      します。</p>	

この申込用紙を、FAXで事務局までお送りください。同じ内容をE-MAILでお送りいただいても結構です。

<お問い合わせ>

社団法人 千葉県社会福祉士会 事務局

〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 千葉県社会福祉センター4階

TEL : 043-238-2866      FAX : 043-238-2867

E-mail : [office@cschwiba.com](mailto:office@cschwiba.com)

ホームページ : <http://www.cschwiba.com/>

受講者による評価（自由記述等）千葉

質問 回答者	(2) 目標・内容	(3) 研修講師	(4) 研修効果	(5) 研修運営	成果・活用	さらに深めたい内容	受講してみたい講師 や機関・団体	その他意見・要望	評価シートに対する 自由記述
1				「6」内容を考える と3日（あるいは2日 半）の時間配分がよい かも。					
2				空調がもう少し良けれ ばありがたかったで す。	自分自身の日常業務、実 習生への指導。				
3									
4									効率的で分かりやす い先生方でとても良 い研修になりました。
5					実習プログラムの作成	実習受入委員会の運営			
6		須永先生はとてもわか りやすく、また、私が 忘れていたこと（指導 者として）を思い出さ せて頂き、大変ありが たかったです。							
7									
8									
9									
10		演習で体験をすること で「自分のもの」とす ることが出来ます。 syさんが先生のお話はと てもわかりやすかつ良 かったです。	仕組み作りの重要性、 実習指導者の人間性。		組織に戻り、仕組み作り に活かしたい。	マネジメント、実習での スーパーバイジョン。	フォローアップに は、是非行きたい。		
11									2日がとてもよ かったです。また、 スタッフの方も丁寧 に対応していただきま あありがとうございました。
12					実習生受け入れのトータ ルな場面	マネジメント能力の向上 (できていることの能力向 上も合わせて)			
13					実習生だけでなく、日頃 のソーシャルワーク業務 に生かせると思う。				
14	講師は大学の先生より も、現場で施設長など 具体例を括かしている 人にしてほしかった。	現場での具体例が少な く、話がたんたんとし ていて眠ってしまった。							
15					SWとは？という問いに 答える。				
16		バーベキューな講習で した。スタッフの対応 がよかったです。							
17									
18					今後、実際に実習指導を 行う際に、全ての面で活 かしていきたいです。				
19				申込→受講決定の時期 から可能な限り早いと 助かります。					
20					実習受入れに対する意識 が高まった。	実習準備を含めた受入れス ケジュールのシステム化。			

受講者による評価（自由記述等）千葉

被開 回答者	(2) 目標・内容	(3) 研修講師	(4) 研修効果	(5) 研修運営	成果・活用	(6) さらに探みたい内容	受講してからの講師 や機関・団体 その他ご意見ご要望	評価シートに対する 自由記述
21		※標準的なものを提供するが、テキストを読む形になりがちだったので、もう少し工夫できないかと思いました。						
22					実習場から今後の人生にも幅広くいかせそうです。	実習中甸でのテクニク。		フォローアップ参加希望です。
23								
24					職場内、実習生に対してのスーパービジョン。社会福祉士としての専門性を再確認し、利用者支援ができるようになった。	やはりソーシャルワークについて更に。		
25		講師の説明がわかりやすかったです。			職場の業務整理、実習生受入準備。	SVスキルの向上。		
26				講義の時間が短く、もっと濃い内容がよかったと思う。	レジメンシャルの把握	業務の見直し	SV論とプログラムミニングについて聞きたい。	
27					職場全体にSWの役割を果たしたSWの実習の意義を伝えること。	スーパーバイズの以外について。		
28					実習指導だけではなく、スーパーバイズとのスーパーバイズ・新人研修etelに役立つと感じた。	スーパーバイズとは何か、具体的にやり方。	コーチング	大変有意義でした。
29								
30								大変、有意義な研修でした。ありがとうございました。
31		2日目のロールプレイですが、ロールプレイ→G内での話し合い→発表のくり返しといった形で、良い気づきを得られました。ただ3人Gで、3回できなかつた。			受入については、一からなので十分に生かしていただきたいです。			
32		1日目の講義、時間が長くさらに内容が多くて先生がやりづらそうでした。						
33								ありがとうございました。
34		国から与えられた内容が微妙なので、講師の評価はできない…。講義内容が当たりきりたりの内容だったので刺激のある内容が欲しかった。		抽選方法がよくない。上の印をもらった人から優先なのはおかしい。				
35								
36					施設での管理者会議で実習生の受入について提案したい。	プログラム論		

設問/回答者	(2) 目標・内容	(3) 研修講師	(4) 研修効果	(5) 研修運営	(6) 成果・活用		受講してみたい講師や機関、団体	その他ご意見・要望	評価シートに対する自由記述
					面談、実習時の気付け方、受け入れ側の体制整備	さらには探みたい内容			
37									
38						これから実習を受け入れるシステム作り、自分たちの業務の振り返りで活かせようと思う。今後の社士実習、及び新人教育の場で生かしたい。			
39									
40							居宅介護支援事業所、訪問介護事業所から、実習を受け入れることができる場所があれば、講師として。		
41						法人に、実習受け入れの意義を伝達する場面で、日常生活業務のふり返し・改善につなげようと思えます。			
42									
43	広報については、福祉士会会員だけでなく、広く発信してほしい。			(2)に記述した内容に同じ。		次年度の事業計画における職務分担。			
44				会場の3人がけの机は狭く感じました。		業務をレジデンスチャルソンチャルワークの視点で整理をしたいと思う。実習生の受入、新人教育。			
45									
46									
47						実習生だけでなく、職員にも活用できる。今後の実習受入。			
48									東京会場でもれた。二回に分けるならば期をずらす。
49						今年から実習生を初めて受入れるので、少しでも研修成果を示したい。自分の仕事を見直すツールとなった。			
50		講義が確一的に進められる理由を知りました。が、テキストを読めば知れるかと感じるのには残念です。講義はマニュアルに従いすぎているのか！		会費がある等の情報を前もって知らせてほしい。					
51						業務、実習受入。			
52						普段の面談時、実習生とのスーパービジョンの場面。			
53									
54				とにかく講義が1日目だけで長時間であった。集中力が足りなかった（私の集中力が足りませんが）。		実習生だけでなく、職員にも活用できる。新人職員の指導でも活かせると感じました。			
55						実習生指導の場面で	スーパービジョン		福山和女

受講者による評価（自由記述等）千葉

返答者	(2) 目標・内容	(3) 研修講師	(4) 研修効果	(5) 研修運営	成果・活用	(6) さらに深めたい内容	受講してみたい講師や機関・団体	その他意見・要望	評価シートに対する自由記述
56				もう少し奮り取より近い所がよかったです。	実習生の受け入れにすこし目標がみえてきた。	自分自身専門性をふりかえられた。		講習会の内容が決められた内容の中、とても工夫して頂きありがとうございました。	
57		実習指導概論、実習マネジメント論、実習プログラミン論は、内容が決められていると分かりやすく、これ以上分かりますかというところは、内容はわかりやすいが、内容がわかりやすいと、たまたま話していた、ただつらかった。			次回、実習生受け入れ。				
58					実際の実習生受け入れ	スーパービジョン			
59									
60									
61						実習受入過程におけるスーパーバイズ。			
62									
63									
64				限られた時間の中で、講義だったので、ゆっくりに聞いてみたい講義があったのか残念です。	場面より明から生かしたいと思います。	実習スーパービジョンです。職場にも活用したいと思えました。	もう一度、須永先生の受講（講義）してみたいと思えました。	とても時間が長いと思いました。	
65					プログラム作成にあたって気づきになることがたくさん発見できました。特にロールプレイが良かったです。まだ実習受入れは未経験ですが、実習受入れをする際にはぜひ活かしたいと思えます。				
66					実習生を受け入れる際に生かしたい。	スーパービジョンの機能について！！		同じ志を持った方がたくさんいらして、志気がありがりました。ありがとうございました。	
67	とくにロールプレイ・グループワークがよかった。				実習生を受け入れる際に生かしたい。	実習生との信頼関係をいかに築くか。	今日の講師と同じ方がよい。		
68					実習受け入れにあたり、事前準備をしていく場面で活かせていけると思えます。	プログラミン。			
69	演習わかりやすかったです。								
70									
71					来年度の実習受入れの際、スーパービジョンの場で活用できると思う。				ご苦労様でした。ありがとうございました。
72									

受講者による評価（自由記述等）千葉

設問 回答者	(2) 目標・内容	(3) 研修講師	(4) 研修効果	(5) 研修運営	成果・活用	(6) さらに深めたい内容	受講してみたい講師 や機関、団体	その他意見・要望	評価シートに対する 自由記述
73		先生が施設の方で現場に即した話が伺えてよかったです。参考になりました。			現在、受入れを行っているのですが、すぐには活かせそうなのがありました。	スーパージョンの重要性。			
74				社会福祉士会の方のこまやかな配慮がありがたかったです。	実習に対しての理解とともに、自分の知識自体を深めたいです。	実習にしたいです。			
75				年度末は他の研修も多く、忙しい時期です。	職場の業務の再確認、新任職員の育成。				
76		初日が一日座学で、かつ一コマずつがかなり長いので、集中力を保つのが大変でした。							
77									
78	1日目の講義の際にもう少し具体的なお話があればと思います。								
79					実習対応及び新任職員の教育。	実習プログラムの作成方法。	教授職だけでなく、現場で働いている方の講師の研修。		
80									
81									
82									
83	内容が多いので仕方ないかと思いますが、休憩をこまめにとらないと集中力が続かないと思います。				実習生5～6名いる中で、個別のプログラム作りは、とても大変だと思いますが、面接の技術はすぐにも役立つと思います。				
84									
85				講義は概論的内容で実践的ではなく、具体的に活用できるものではないなかつたので、とても残念でした。	講義は概論的内容で実践的ではなく、具体的に活用できるものではないなかつたので、とても残念でした。			会場の照明が暗くて、テキストを見ることがとても疲れました。	
86		実習スーパージョンにおける「契約」という概念が少し理解し辛かったです。			仕事で来る研修は平日開催。				
87									
88									
89									
90	契約からプログラムの流れが理解できつつある。	第1日目の内容が講師によってダブリがある。実際に演習に重点を置いたらよいかと思う。			参加人数の割りに、全体に余裕が無い。				
91									
92									
93									
94									
95		とてもテンポがよく、内容も充実だったと始まります。時間通りに終わったので気持ちよかったです。			来年度の実習生受け入れ。	実習スーパージョン論。	奥川幸子先生、スーパージョン。		

受講者による評価（自由記述等）千葉

受講者	(2) 目標・内容	(3) 研修講師	(4) 研修効果	(5) 研修運営	成果・活用	(6) さらに深めたい内容	受講してみたい講師 や機関・団体	その他ご意見ご要望	評価シートに対する 自由記述
96		講師の方々の話しが、学校側からかたよつた。プログラミンの所は、もっと詳しく説明してほしい。			自分の業務を見なおす機会になった。	スーパービジョン			
97					実習生との関わりだけでなく、職員指導でも活かせると思います（スーパービジョン等）。	プログラミン方法	成田先生のスーパービジョンについて。		
98									
99					新人職員への教育計画・プログラミン。実習生受け入れに対しての意識が変わり、受け入れの際に役に立ちます。現実の実習生を受け入れた。				
100									
101	非常に参考になった。自分の仕事の振り返りもできた。	判りやすさ、とてもキメ細かく、理解できた。	スーパービジョンについてよく理解できた。			スーパービジョン	とても判りやすい講義（成田先生）で面白く、とても良かった。		いい研修でした。ありがとうございました。
102				初日の講義のみという構成はつらかったです。					
103	少し1日目が長く集中するのに疲れました。	ロールプレイが大変身体的で勉強になりました。	SWとしての実習。職場と職種、SWのプログラミンやマナーメニューの違いが理解出来ました。		実習の組み立てや契約など。	プログラミンの内容。	スーパービジョンの福山先生など。		
104	伝達研修ということだが、もう少し具体例を説明するなどメリハリが必要だと思ふ。				実習プログラムの作成、事前面接。	実習プログラムの作成		1日目の内容はもう少し検討してほしい。	
105					職員教育の場。	プログラムの作り方。			評価方法に2と3の間に普通を入れる。
106									
107				もう少し全国各地で実施して欲しい。					
108									
109									
110				会場が狭い（参加者とのキヨリが近すぎ）、朝が早すぎです。10時スタートがベスト。	新人職員のSVとして利用したい。基本プログラム、マニュアル作成。	対人援助の方法、アイスブレイク等の技術。各分野別のプログラム作成。			
111			他で行っている個別プログラムの基本プログラムの具休例を示してほしい。						
112									
113		テキストと教材の使い分け。	業務分析、実習計画。		次の実習生受け入れに向けて取り組みなければならぬことをそれぞれ実感できた。	スーパービジョン	奥川氏のスーパービジョン		
114		3人組のスーパービジョンで監察者役が設けられていたが、短時間のロールプレイには時間的に不効率。観察者を2回やると1人組が良いと思ふ。							

質問 回答者	(2) 目標・内容	(3) 研修講師	(4) 研修効果	(5) 研修運営	成果・活用	さらに深めたい内容	受講してみたい講師 や機関・団体	その他ご意見・要望	評価シートに対する 自由記述
115		話が抽象的、具体性が ない。現場で仕事をし ていない人（北爪、消 水）が話をすると、ど でも退屈である。この 研修はよくないこと を、アピアビジュアル を、大学生に話をし ているのではないのだ よ！久しぶりの大学の 教員レベルの低さを 感じた。講師は、大学 教員以外にして下さ い。大学教員だと報酬 が安いからですか！			実習生が、何故よくない か（大学職員に現実知識 がないから）がわかっ た。	民法	三木谷（楽天会 長）、野村監督、内 藤（プロボク サー）。	研修会場がせまい。参加 利益重視の為、参加 者がせまい思いで研 修した。改善を望 む。	千葉県社会福祉士会 は、利益を重視し て、ひまな時間に開催 したと思う。このよ うな事が、許される のか、講師の都合で 日時を調整した点 は、不当だと考え る。会場代を安くし た為、参加者は窮屈 な思いをした。改善 して下さい。社福会 の当期利益確保の為 おこなったのではな いですか！
116									
117									
118									
119		実習指導の構造を学び つつ、実際に翌日、こ ロールプレイを行うこ とで、例に実習生を受 けたことにも想定するこ とができた。							
120				定規のメリハリがある とよかった。					
121					実習前面接をここまで考 えたとこがなかったの で、留意点をまとめ、 次に備えます。	スーパービジョンは、私よ り上司が担当した方が良 いと思ひ込んでいました。 これからは、勉強してい きます。			
122									
123									
124	2日目は、実際に働く 種別毎に分かれると、 今後の指導に役立つの ではないかと思いま す。			受講表の送付がされ ず、こちらから問い合 わせをした。送る時期 など記載があると、わか りやすい。	実習受入に際して、すぐ に実行出来る。 自身の実習指導または実 習指導者への助言。	実習内容演習			
125									
126		図形・カレライスの 例え話は今ひとつピン とこなかった。		初日の長時間に渡る講 義にもかかわらず、狭 い机に3人も座らせら れるのは、隣の方との 距離が近すぎ、非常に 苦痛であった。もう少 しいかい会場で余裕を もって受講したい。		プログラミング			2日間つめこみす ぎのようない感じがす る。プログラミン グについて、時間をか けてほしい。
127									
128					マネジメント、スーパー バイズで。	実習スーパーバイズ			成田すみれ



受講者による評価（自由記述等）千葉

被問/回答者	(2) 目標・内容	(3) 研修講師	(4) 研修効果	(5) 研修履歴	成果・活用	さらに深めたい内容	受講してみたい講師 や機関・団体	その他ご意見・要望	評価シートに対する 自由記述
129					日常生活の中で相手を思いやり、長所を引き出す等コミュニケーションで活かせる。	福祉にかかわる人が増えレベルUPのために役に立ちたい。			
130					ふだんの仕事にも生かせる。	フォロー研修をしてほしい。特にスーパービジョンについて。			
131									
132									
133									
134									
135									
136	研修講師の方が、大学教授（養成校側）に偏りがあったと思います。	レジュメ読むだけならだれでもできる→「実践」のお話おおくてもよいかと。			支障的スーパービジョンについては、保育でも活かしていききたいと思っただ。			2日目、時間の都合をつけて頂きありがとうございました。感謝しております。	
137									
138					日々の業務で。	実習プログラムの実際の方。			
139					職員	実習スーパービジョン論	社会福祉士会		講義は説明で長く感じました。2日目の演習は、勉強になった。SFの配慮がすばらしかったです。企画側の大変さはわかっているつもりですが、本当にすごかったです。
140									
141									
142									
143									

被評価者	(2) 目標・内容	(3) 研修講師	(4) 研修効果	(5) 研修運営	成果・活用	さらに探めたい内容	受講してみたい講師 や機関・団体	その他ご意見ご要望	評価シートに対する 自由記述
144				今回のように月半ばの開催のほうが参加しやすいと思います。	実習生の受け入れだけでなく、職場の同僚（新人・先輩・ビジョン）へのセミナー・ワークショップに活用せると思っています。				
145		同種ごとのプログラム作成などがしりたりかつた。	もう少し具体的だともっと良い。	時間配分：先生による研修の入れ方が違う。まじめすぎる。	来年度からの実習受入、	社団社の業務、名称独占から業務独占へ。			
146					今後の実習受入にいかせると思っています。	プログラミンとスーパーバイズ。			
147					今回の研修を受講させていただき、時間的にも新年度の職場の新人に対する研修にすぐ活かせるようにしたい。もちろん今後の実習生受け入れ時の実習プログラムにも反映出来るように努めたい。				
148		実習プログラム②③の①に比べてわかりにくいです。もう少し整理してほしいと思います。カリキュラム④⑤の実習はとっておもしろかったです。ただ実習プログラム（計画づくり）の具体的な作り方については、もう少し現実的な内容の研修もほしいなと思いました。（どう書けばよいかはまだよくわかりませんが）							
149		講師の方の指導方法ではなく、講義の時間に対して、やる事が多すぎて理解するのに苦感しました。							